

事務事業名		乳幼児歯科保健事業		☐ 実施計画登載事業 ☒ 総合戦略登載事業																										
政策体系	政策名	02 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間																										
	施策名	08 子ども・子育て支援の充実		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 年度～)																										
	基本事業名	01 子どもの心身の健やかな成長支援		☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																										
根拠法令		母子保健法		予算科目 会計 01 款 04 項 01 目 01 事業 27																										
所属	部課名	生活福祉部健康推進課		事務事業区分																										
	課長名	菅原 松子		A 政策事業 B 施設整備																										
	係名	母子保健係	電話 0192-27-1581	C 施設管理 D 補助金等																										
	担当者	遠藤美緒	内線 -	E 一般(A～D以外)																										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ①乳幼児の保育者に歯科保健の重要性を啓蒙し、日常生活の中で口腔衛生を保つために必要な知識の習得を目的に実施している。 ②1歳6か月児・3歳児健康診査と、市内医療機関へ委託し2歳6か月児歯科健康診査を実施。7か月児歯科保健指導での歯科衛生士による個別指導や、満5歳になる幼児を対象に「こんにちは6歳白歯」を配布している。主な業務は、健診日程の計画、歯科医への協力依頼、対象者への案内、未受診者への受診勧奨、健診会場準備、う歯有病率等の把握と報告、1歳6か月児・3歳児歯科健診時の歯科医へ報酬支払い事務、2歳6か月児歯科健診委託料の支払い事務である。 ③事業費は、歯科医報酬、歯科衛生士謝礼、2歳6か月児歯科健診委託料、配布用リーフレットや歯ブラシ等消耗品費であり、「こんにちは6歳白歯」は、岩手県歯科医師会より無料で配布している。																														
全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="6">総投入量 (千円)</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>						総投入量 (千円)	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計(B)	0		トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量 (千円)	国庫支出金																													
	都道府県支出金																													
	地方債																													
	その他																													
	一般財源																													
	事業費計(A)	0																												
人件費	正規職員従事人数																													
	延べ業務時間																													
	人件費計(B)	0																												
	トータルコスト(A)+(B)	0																												

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
① 手段(主な活動)		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 1歳6か月児・3歳児健診実施回数</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>イ 2歳6か月児歯科健康診査受診回数</td> <td>214回</td> </tr> <tr> <td>ウ 7か月児歯科健康相談実施回数</td> <td>12回</td> </tr> </table>		名称	単位	ア 1歳6か月児・3歳児健診実施回数	12回	イ 2歳6か月児歯科健康診査受診回数	214回	ウ 7か月児歯科健康相談実施回数	12回
名称	単位										
ア 1歳6か月児・3歳児健診実施回数	12回										
イ 2歳6か月児歯科健康診査受診回数	214回										
ウ 7か月児歯科健康相談実施回数	12回										
前年度実績(前年度に行った主な活動)											
1歳6か月児・3歳児・2歳6か月児歯科健康診査の実施。7か月児健康相談での個別歯科指導。満5歳児を対象に岩手県歯科医師会作成の冊子「こんにちは6歳白歯」を配布。											
今年度計画(今年度に計画している主な活動)											
通常どおり											
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)									
7か月児・1歳6か月児・2歳6か月児・3歳児・5歳児とその保育者		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 1歳6か月児・3歳児健診対象者</td> <td>220件</td> </tr> <tr> <td>キ 2歳6か月児歯科健康診査対象者</td> <td>252件</td> </tr> <tr> <td>ク 7か月児歯科健康相談対象者</td> <td>224件</td> </tr> </table>		名称	単位	カ 1歳6か月児・3歳児健診対象者	220件	キ 2歳6か月児歯科健康診査対象者	252件	ク 7か月児歯科健康相談対象者	224件
名称	単位										
カ 1歳6か月児・3歳児健診対象者	220件										
キ 2歳6か月児歯科健康診査対象者	252件										
ク 7か月児歯科健康相談対象者	224件										
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)									
乳幼児の保育者が、日常生活の中で口腔衛生を良好に保つために必要な知識を習得・実践し、乳幼児のう歯を予防する。		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 1歳6か月児健診・3歳児健診でのう歯有病者率</td> <td>4.1・26.7%</td> </tr> <tr> <td>シ 1歳6か月児・3歳児健診での一人当たりう歯本数</td> <td>0.08・1.2本</td> </tr> <tr> <td>ス 2歳6か月児歯科健康診査でのう歯有病者率</td> <td>10%</td> </tr> </table>		名称	単位	サ 1歳6か月児健診・3歳児健診でのう歯有病者率	4.1・26.7%	シ 1歳6か月児・3歳児健診での一人当たりう歯本数	0.08・1.2本	ス 2歳6か月児歯科健康診査でのう歯有病者率	10%
名称	単位										
サ 1歳6か月児健診・3歳児健診でのう歯有病者率	4.1・26.7%										
シ 1歳6か月児・3歳児健診での一人当たりう歯本数	0.08・1.2本										
ス 2歳6か月児歯科健康診査でのう歯有病者率	10%										
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)											
疾病を予防し、早期治療が受けられる。											

(2) 総事業費・指標等の推移

		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)
		単位						
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	1,265	1,326	1,373	1,394	1,394
	人件費	事業費計(A)	千円	1,265	1,326	1,373	1,394	1,394
		正規職員従事人数	人	9	9	7	9	9
		延べ業務時間	時間	435	495	530	495	495
		人件費計(B)	千円	1,600	1,980	2,120	1,980	1,980
		トータルコスト(A)+(B)	千円	2,865	3,306	3,493	3,374	3,374
⑤活動指標	ア	12回	12・12	12・12	12・12	12・12	12・12	12・12
	イ	214回	186	195	214	200	200	200
	ウ	12回	12	12	12	12	12	12
⑥対象指標	カ	220件	234・250	260・227	220・239	263・230	263・230	263・230
	キ	252件	232	234	252	236	236	236
	ク	224件	270	221	224	230	230	230
⑦成果指標	サ	4.1・26.7%	3.6・34.3	2.3・42.3	4.1・26.7	2.2・35.0	2.2・35.0	2.2・35.0
	シ	0.08・1.2本	0.09・1.4	0.07・1.9	0.08・1.2	0.06・1.8	0.06・1.8	0.06・1.8
	ス	0.1	21.0	9.7	10.0	9.6	9.6	9.6

事務事業ID	0290	事務事業名	乳幼児歯科保健事業
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

母子保健法に基づき市町村で実施。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

当市は県内でも乳幼児のう歯が多く、法に基づく歯科健診だけでなく、う歯予防のために歯科保健指導や健診後の訪問活動にも力を入れている。また機構改革に伴い、平成27年度より担当課が保健介護センターから健康推進課となっている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

特になし。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性

- 1 現状維持
2 改革改善(縮小・統合含む)
3 終了・廃止・休止



(2) 改革・改善による期待成果

左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。
(終了・廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		●	
	維持			×
	低下		×	×

(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等

う歯に罹患する者が増える2歳台に実施される2歳6か月児健診の機会を利用し、引き続き家庭でできる取り組みについてのリーフレットを受診票とともに送付する。また、受診勧奨を行い、未受診者がないように働きかけ、う歯罹患者が増える時期に正しい歯科保健指導を受けられるように努める。さらには、歯科衛生士の歯科訪問も継続して実施していく。

4 課長等意見

(1) 今後の方向性

- 1 現状維持
2 改革改善(縮小・統合含む)
3 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

事業実施方法の見直しにより一層の事業効果が見込まれる。